

とうきょうとしょうがいしゃ りかいそくしんおよ さべつかいしょう すいしん かん じょうれい かしょう がいよう 東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例（仮称）の概要 (案)

もくてき 目的

とうきょう たいかい みす とみん およ じぎょうしゃ しょうがいしゃ りかい ふか
東京2020大会を見据え、都民及び事業者が障害者への理解を深め、
しょうがいしゃ さべつ かいしょう とりくみ すす しょうがい うむ
障害者差別を解消するための取組を進めることで、障害の有無によって
わ へだ きょうせいしゃかい じつげん めざ
分け隔てられることのない、共生社会・ダイバーシティの実現を目指す。

じょうれい がいよう あん 条例の概要（案）

- 1 じぎょうしゃ じぎょうしゃ たい とうりてきはいりょ ていきょう ぎ む か
事業者による「合理的配慮の提供」を義務化
事業者に対して「合理的配慮の提供」を義務付ける。（※法は努力義務）
- 2 じょうほうほしょう すいしん げんこ しゅわ ふきゅう
情報保障の推進、言語としての手話の普及
じょうほうほしょう すいしん しゅわ げんこ にんしき もと
情報保障を推進するとともに、手話は言語であるとの認識に基づき、
しゅわ ふきゅう つと
手話の普及に努める。
- 3 せんもんそうだんたいせい せいび
専門相談体制の整備
せんもんそうだんきかん こういきしえんそうだんいん もう しょうがいしゃ じぎょうしゃそうほう そうだん
専門相談機関（広域支援相談員）を設け、障害者・事業者双方から相談を
う っ
受け付ける。
- 4 ふんそうかいけつ し く せいび
紛争解決の仕組みの整備
ふんそうじあん かいけつ だいさんしゃきかん ちょうせいいいんかい
紛争事案を解決するため、第三者機関（調整委員会）によるあっせんの
てつづ もう
手続きを設ける。
あくしつ ばあい ち じ かんこく こうひょう おこな ほう かんこく
悪質な場合、知事は「勧告」、「公表」を行う。（※法は「勧告」まで）

けんとうじょうきょう 検討状況

1. じょうれいけんとうぶ かい ねん がつせっち だい かい かいさい
条例検討部会【29年3月設置】第8回まで開催
2. とうじしゃだんたい ねん がつ だんたい たい じっし
当事者団体ヒアリング【29年4月】22団体に対して実施
3. じぎょうしゃだんたい ねん がつ だんたい たい じっし
事業者団体ヒアリング【29年7月】15団体に対して実施
4. こべつ ねん がつ がつ ふどうさん きょういくぶんや ちゅうしょうきぎょうとう だんたい
個別ヒアリング【29年8月～10月】不動産、教育分野、中小企業等22団体
たい
に対して実施

こんご 今後のスケジュール（予定）

へいせい ねん がつ へいせい ねん がつ じっし
平成29年12月から平成30年1月 パブリックコメントの実施
へいせい ねん がつ じょうれいあん ていあん だいに かいいていれいかい
平成30年6月 条例案の提案（第二回定例会）
へいせい ねん がつ ついたち じょうれい しこう
平成30年10月1日 条例の施行